取扱説明書

保管用

LF－9272（FLR40Wx1）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプ交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書いてあります
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。
お客様へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

適合ランプ　：ＦＬＲ４０ＳＷ
重　　量：２．６kg
最大送り容量：１０Ａ
適 合 電　線：ＶＶＦケーブル φ１．６、φ２．０単線

◆施工上の注意◆

⚠ 警告

器具の取り付けは、重量の耐えるところに説明書にしたがい確実におこなってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹出し口）の近くに設置しないでください。
★異常過熱による火災の原因となります。周囲温度０～３０℃の場所でお使いください。また、器具がゆれて破損する原因となります。

電源の送り容量は最大で１０Ａです。必ず１０Ａ以内で使用してください。
★最大容量を超えて使用すると端子部の異常過熱による火災の原因となります。

必ずＶＶＦφ１．６またはφ２．０の単線のケーブルを使用してください。
★指定以外のケーブルを使用すると接触不良による過熱によって火災になる場合があります。

端子に差し込むケーブルの芯線は、真っ直ぐな線を正しく挿入してください。
★曲った芯線やよれた芯線は、接触不良となり接触抵抗の増加を招いて火災の原因となる場合があります。

器具の改造、部品の組み替えはしないでください。
★感電や漏電などの事故、故障の原因となります。

⚠ 注意

電源電圧については確認の上、適正なものをご使用ください。
★指定の電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因となることがあります。

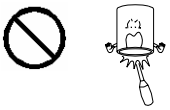
◆使用上の注意◆

⚠ 警告

●濡れた手で触らないでください。
★感電の原因となります。

●器具の改造、部品の組み替えはしないでください。
★感電や漏電などの事故、故障の原因となります。

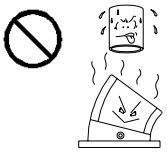
●器具のを布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。



●ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

●必ず指定されたランプを使用してください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱によって熱損事故の原因となります。
そのまま無理に使用を続けると、器具の故障や火災の原因となることがあります。

⚠ 注意



●器具のそばでストーブなど発熱するもを使用しないでください。
★異常過熱による火災の原因となります。

●殺虫剤やカビとり剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるヒビ割れなどの原因となります。

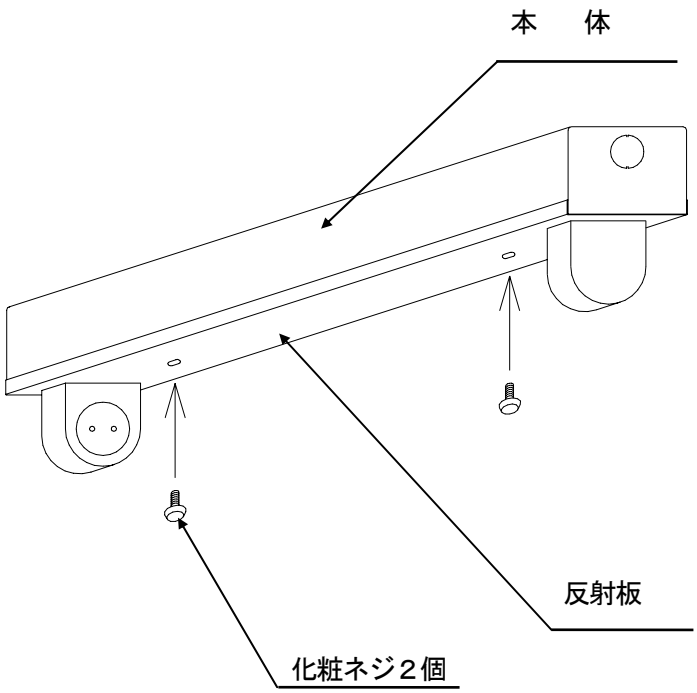
●点灯中や消灯直後のランプ、器具の内側には触らないでください。
★火傷の原因となります。

ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用下さい。
★雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。

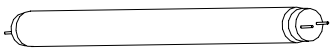
●同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。
★事前に確認し対策を講じて下さい。

各部の名称	（説明図は、一部を省略抽象化した図です。） （不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】



【付属品】



ランプ：ＦＬＲ４０ｗSW　１本

取扱説明書（本書）　１枚

取り付け方　　⚠ **注意　必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。**

器具の取り付けは、説明書にしたがい確実に行なってください。

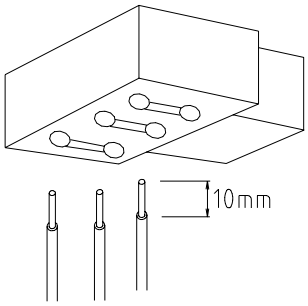
⚠ **警告**　★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●取り付ける前に……梱包を開いたら化粧ネジを外して、反射板をあけてください。

１．背面図従い吊りボルトで取り付けたください。

取り付けピッチは、８００mmピッチの２本吊です。
木ネジで取り付ける場合は、必ず補教材のある場所に取り付けてください。
補教材のない場所に取り付けると器具の落下事故の原因となります。

２．電源線の接続。



アース線は第３種接地工事を行なってください。
適合電線φ１．６・φ２．０ ＶＶＦケーブル。送り配線は １０Ａ。
電源線・アース線と調光線の４本のＦケーブルが必要です。
続接が不完全な場合や容量オーバーの場合火災の原因となります。
電線の線芯被覆部は造営材と充分はなしてください。

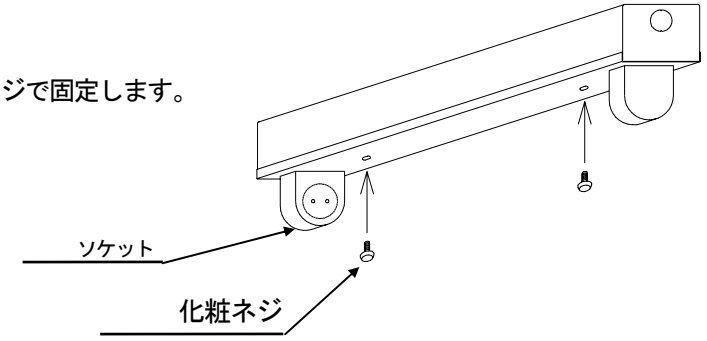
電源線は、ソケットへ行く２次側の配線になるべく近づけないで下さい。
調光が効かなくなる場合があります。

３．ソケットの取り付け。

ソケット側面の溝を本体のガイドレールに沿って、スライドさせて取り付けます。

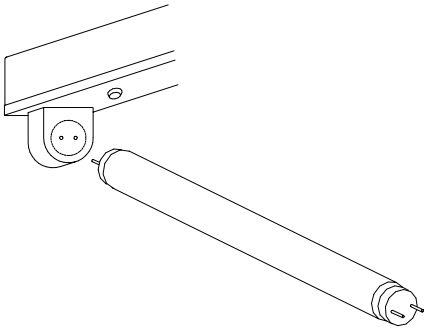
４．反射板の取付。

ソケットを反射板の両サイドの切込穴にいれ、化粧ネジで固定します。



４．ランプを確実に取り付けてください。

片側のソケットにランプのピンを合わせ押し込みます、反対側の
ソケットにピンを合わせ挿入します。
ランプピンが確実にソケットに挿入されているか、ランプを左右に回して確認してください。
不確実な挿入のままでも点灯しますが、ランプの単寿命及びインバータの破損に至りますので充分注意して下さい。
取り外しは、逆に行ってください。



お手入れについて　　**⚠ 注意　必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。**

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。

⚠ 注意

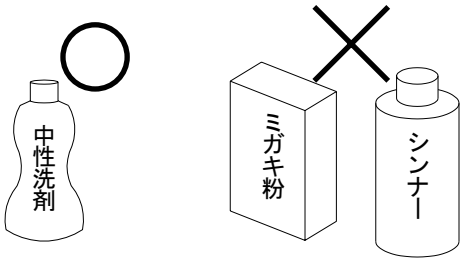
ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。
★感電事故の原因となります。

スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。素手で触らないでください。冷えてから交換するか、
またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。
濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。
適合ランプ以外のランプは使用しないでください。「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

◆お手入れの仕方◆

①柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
②汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
③最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■こんな時には

ご使用中の器具に異常を感じたときには、直ちにスイッチを切ってここに書かれている事柄を確認してください。

スイッチを入れても点灯しない	ランプは確実にセットされていますか。 ランプが切れていませんか。新しいランプと交換してください。
ランプがすぐ切れてしまう	電源電圧は正常ですか。

★該当項目をチェックしても、症状が改善されない場合には、最寄りの山田照明営業窓口までお問い合せください。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型名（器具本体の銘板ラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店もしくは、山田照明サービス受付窓口にご相談ください。